

師長の臨床

省察しつつ実践する看護師は師長をめざす

著：佐藤紀子／医学書院

定価：2000 円＋税／TEL：03-3817-5657

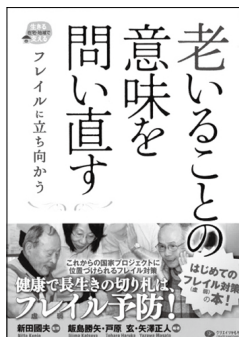
●『変革期の婦長学』（1998、医学書院）以来、看護管理学の領域に、深く、強い関心をもち続け、現在「看護職生涯発達学」を標榜する著者の描き出す「師長の臨床」。1人ひとりの看護師の実践からナラティブを引き出し、意味を賦与することで看護師の省察をさらに深める。管理と実践を同時にその身に引き受ける看護師長の姿に、看護の大きく、新しい可能性を読み取り、新しい時代の看護職を支援する。

うそをつかない医療 患者と医療者をつなぐ仕事

著：豊田郁子／亜紀書房

定価：1600 円＋税／TEL：03-5280-0261

●5歳の愛息を医療事故で失ってから12年目の2015年、「うそをつかない医療」を求めてきた著者らの努力により「医療事故調査制度」が成立した。著者は「悲しみと怒りのエネルギーに縛られたままではだめだ」と、心の傷みを乗り越え、患者と医療者をつなぐ仕事に精力を傾ける。医療職にある者に、職業人としての生き方をあらためて問う。



老いることの意味を問い直す フレイルに立ち向かう

監修：新田國夫／編著：飯島勝矢・戸原玄・矢澤正人／クリエイツかもがわ

定価：2200 円＋税／TEL：075-661-5741

●「健康で長生きの切り札は、フレイル予防！」（帯より）の旗の下、千葉県柏市の「柏スタディ」におけるフレイルチェック、8020運動に始まる口腔ケアから生まれたオーラルフレイル、食とADLを結びつける埼玉県和光市の「コミュニティケア会議」の取り組みなど、地域包括ケアの実現の根幹となるフレイル対策の現状を報告する。地域住民、医療・介護の多職種、行政、アカデミアの連携のモデルを提示する。

私らしく死にたい 病後の医療・暮らし・旅立ち

編著：国際長寿センター日本(ILC-Japan)／水曜社

定価：1500 円＋税／TEL：03-3351-8768

●大腸がんをはじめとする6つの疾病を例に、病気の経過、病後の選択肢を示して、人の死への道のり、即ちよりよい人生の締めくくりを考える本。人の生き方は千差万別。病後の生き方も人さまざまだ。そうではあっても、そこでの選択を支援できるのは経験豊かな医療職にほかならない。患者さん1人ひとりの「私らしさ」をサポートする人、必携の書。

